

達成状況評価書(平成24年度)

部局名:免疫学フロンティア研究センター

項目	コメント
<p>1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)</p> <p>教育に関する年度計画の達成状況</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、センターの共用語である英語によるセミナーを計12回にわたり開催し、延べ450名以上の参加者を得るとともに、デュアルメンター制度を今年度から実施し、分野の異なる研究者をメンターとする若手研究者に対し、異分野融合研究推進のための経費支援を開始するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
<p>2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)</p> <p>研究に関する年度計画の達成状況</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、制御性T細胞による免疫応答制御に対して日本学士院賞が授与され、アレルギー反応の抑制因子同定の研究によって科学技術分野の文部科学大臣表彰・科学技術賞(研究部門)を受賞するなど特筆すべき実績を残している。また、免疫学・イメージング・バイオインフォマティクス各分野の研究推進及びそれらの異分野融合研究の推進、国際シンポジウムの開催、サイエンスカフェ等の広報活動、研究者の知財管理支援業務等の実施など、積極的に行っており、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
<p>3. その他 (大学の年度計画: 11~16)</p> <p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、FIRSTプログラム審良プロジェクトにより、センター研究者を対象とした知財セミナーや特許検索セミナーを延べ5回にわたって開催し、研究者の知的財産に対する意識向上を図るなど、適切に実施している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
<p>4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)</p> <p>業務運営全体に関する年度計画の達成状況</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、WPIプログラム中間評価において受けた指摘事項を、適宜対策、改善を行うとともに、ホームページを、画像や動画を多用した視覚に訴える構成とし、研究成果等の迅速な情報発信に努めるなど適切に実施している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
<p>5. 全体の項目に関する達成状況</p>	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、日本学士院賞や科学技術分野の文部科学大臣表彰・科学技術賞(研究部門)を受賞するなど特筆すべき実績を残しており、大学の実績として評価できる。また、国際シンポジウムやセミナーの開催、サイエンスカフェ等の広報活動、研究者の知財管理支援業務等の実施など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>